

令和 2 年度 事業報告

一般社団法人 日本基礎建設協会

政府は令和 3 年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度（令和 3 年 1 月 18 日閣議決定）において、次のような見解を公表しています。

令和 2 年度の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」、令和 2 年度第 1 次・第 2 次補正予算の効果も相まって、持ち直しの動きがみられる。他方、経済の水準はコロナ前を下回った状態にとどまり、経済の回復は道半ばである。

こうした中、政府は、感染症の拡大防止策、ポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現、防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保を柱とする「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」（以下「総合経済対策」という。）を策定し、また、令和 2 年度第 3 次補正予算を編成しました。また、最近の感染拡大に対しては、緊急事態宣言に基づいて感染拡大を抑えることを最優先に対策を徹底し、経済への影響に対しては、令和 2 年度第 3 次補正予算の着実な執行とともに予備費も活用して支援策を講じていきます。今後については、感染拡大の防止策を講じるなかで、総合経済対策の着実な執行等による各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されます。ただし、内外の感染拡大による影響が国内経済を下振れさせるリスクに十分注意する必要があります。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

物価の動向をみると、原油価格下落等により、消費者物価（総合）は前年比でマイナスとなっています。

この結果、令和 2 年度の実質国内総生産（実質 GDP）成長率は▲ 5.2%程度、名目国内総生産（名目 GDP）成長率は▲ 4.2%程度と見込まれる。また、消費者物価（総合）変化率は▲ 0.6%程度と見込まれます。

以上のような状況下における当協会の令和 2 年度決算状況ですが、当期経常増減額は新型コロナウイルス感染症の影響により、感染症拡大防止の観点から講習会場に多くの受講者が集まる技術講習会や移行講習会を中止したため増減共に大きな減額となりましたが、政府の持続化給付金の申請を行い受給されたこともあって、5,322 千円のプラスとなりました。これにより、基本財産を 3,000 千円余増額しました。

また、協会の主要事業である「基礎施工士」検定試験については、平成 28 年度から「登録基礎ぐい工事試験」として国土交通大臣が登録した民間資格試験となったことにより、安定的に受験者数が推移しておりましたが、当期は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、感染防止対策を行い 184 名の方に受験申込をしていただきましたが 40%近くの受験者数の減となりました。なお、従来資格保有者の新資格への移行者については新型コロナ禍の特例として次年度に延期して移行講習会を実施することとしました。

このような状況下で令和 2 年度においては、当協会内に整備した技術委員会、広報委員会、安全委員会等各種委員会を中心に協会活動については、リモート会議等により実施し、当協会員の社会的地位の向上に努めました。

またその他、基礎工法の開発・普及という協会の設立目的に従い、「基礎施工士」試験制度を中心に基礎工事業界の向上発展を目指して、令和2年度事業計画に基づき、次のとおり、各種事業を実施しました。

1. 令和2年度「基礎施工士」検定試験（登録基礎ぐい工事試験）の実施について
（日本基礎建設協会、コンクリートパイル・ポール協会の共同開催）

本年度も、両協会関係者の指導及び支部会員各位の協力を得て、次のとおり実施しました。

試験地	開催年月日	申込者数	受験者数	合格者数
札幌	令和2年11月8日(日)	15	14	6
東京	同	159	152	62
名古屋	同	31	29	13
大阪	同	82	79	35
広島	同	16	15	8
福岡	同	59	55	31
合計		362名	344名	155名 (合格率45.1%)

試験対象工法は以下のとおりで、受験料は19,500円です。

○場所打ちコンクリート杭工法

- ・アースドリル工法
- ・オールケーシング工法
- ・リバース工法
- ・地中壁杭工法

○既製コンクリート杭工法

※「基礎施工士」検定試験は、平成28年6月1日の建設業法施行規則の改正により国土交通大臣の登録を受けた試験として名称が「登録基礎ぐい工事試験」となりました。
なお、「登録基礎ぐい工事試験」合格者の称号は「基礎施工士」となっております。

うち日本基礎建設協会実施分

試験地	開催年月日	申込者数	受験者数	合格者数
札幌	令和2年11月8日(日)	2	2	0
東京	同	84	80	33
名古屋	同	19	18	8
大阪	同	38	37	16
広島	同	10	9	5
福岡	同	31	30	17
合計		184名	176名	79名 (合格率44.9%)

2. 令和2年度新資格移行試験の中止（延期）について

平成28年度から既存資格保有者が新資格へ移行を希望する場合は、移行試験を受ける必要がありますが試験問題の一部が免除されます。また、移行奨励期間として令和2年度（平成32年度）までの5年間に限り受験料の割引を行っています。しかしながら今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により感染拡大防止の観点から中止し、特例的に次年度に延期としました。

試験対象工法は以下のとおりですが、既存取得資格の種類により、○場所打ちコンクリート杭工法、○既製コンクリート杭工法のどちらかの試験問題が免除されます。

○場所打ちコンクリート杭工法

- ・アースドリル工法
- ・オールケーシング工法
- ・リバース工法
- ・地中壁杭工法

○既製コンクリート杭工法

3. 令和2年度「基礎施工士」の資格更新に関する講習会の開催について

「基礎施工士」検定試験規定第20条に定める資格の有効期限5ヵ年が満了となる者の資格更新にあたって、「基礎施工士」の知識及び技術の維持・向上を目的とした講習会を実施することとしていますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により感染拡大防止の観点から特例として更新講習会の受講に替えて通信教育型（自宅学習のうち更新のための能力確認試験問題を解答して合格することを更新の要件）として実施しました。

実施時期

1) 更新案内公表	令和2年 4月17日
2) 自宅学習資料及び試験問題の送付	令和2年 5月29日
3) 解答書の送付期限	令和2年 6月30日
4) 更新の可否通知	令和2年 7月20日

更新者数 442名

(注1) 平成24年度から本講習会は、下記5.の登録基礎工基幹技能者講習会と同時に実施していますが、今年度の講習会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止し、通信教育型として単独で実施しました。

4. 令和2年度「場所打ちコンクリート杭の施工」に関する技術講習会の開催中止について

東京・大阪の両地区において、関係機関及び関東、関西両支部の会員各位の協力を得て「場所打ちコンクリート杭の施工」に関する技術講習会を例年開催していますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により感染拡大防止の観点から開催を見合わせました。

* 「既製コンクリート杭の施工管理」に関する技術講習会については、一般社団法人コンクリート

パイル・ポール協会が10月11日（日）に東京でリモート会議等により開催しました。

5. 令和2年度「登録基礎工基幹技能者」講習事業の実施について

場所打ちコンクリート杭工事で総括職長として作業管理を担当する「登録基礎工基幹技能者」について、当協会は平成23年12月に全国基礎工事業団体連合会（全基連）とともに同講習の実施団体として国土交通大臣から認可を受け、平成24年度から登録基礎工基幹技能者を養成するための講習を実施しています。全基連と共同設置の同講習委員会のもと、当協会が令和2年度に実施した講習会の内容は次のとおりです。

(1) 「登録基礎工基幹技能者」講習会開催地等

開催地	開催年月日	受講者数
東京	令和3年1月30日（土）・31日（日）	56

(注) 上記3.の「基礎施工士」資格更新に関する講習会と例年同時に実施するが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から更新講習会が中止されたため、東京会場のみで単独で実施しました。

(2) 受講対象者： ・実務経験10年以上 ・職長経験3年以上
・「基礎施工士」等の資格所有者

(3) 受講・受験料： ・受講料 31,450円 ・受験料 5,250円
計（会員・非会員とも） 36,700円

6. 各委員会の活動について

常設委員会である経営・企画委員会をはじめ特別委員会の基礎施工士検定試験委員会等各委員会を通じて協会活動を、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からリモート会議等により実施しました。

(1) 特別委員会

基礎施工士検定試験委員会

上記1.の「基礎施工士」検定試験の問題作成、採点、合否判定について審議するため、3回の委員会を開催しました。

(2) 常設委員会

1) 経営・企画委員会

令和3年度事業計画・予算、令和2年度決算見込について、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面での審議が行われました。

2) 広報委員会

令和3年3月、広報誌「Foundation」（11号）を発刊し、当協会の会員企業の活動を理解していただくため当該広報誌を幅広く関係者に配布することにより、当協会の活動の宣伝をしました。

また、技術講習会等各種講習会や、書籍の案内及び新「基礎施工士」検定試験の受験案内、協会カタログのホームページ掲載など協会のホームページを一層充実させた。

なお、地盤技術フォーラム2020に出展し、協会のPRを行う予定としていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から出展について見合わせた。

3) 安全委員会

基礎工事現場における労働安全衛生活動の重要性に鑑み、安全衛生に対する一層の意識の向上を図るため、以下のとおり前年に引き続き関東支部・関西支部において、安全研修会の開催及び安全パトロールを安全委員他関係者の協力により実施しました。

①安全研修会の開催

イ. 関東支部

- ・日 時 令和2年10月23日（金）14:00～15:40
- ・場 所 鉄鋼会館（中央区）
- ・テ ー マ 「笑いは心の栄養剤 心に余裕を持って行動すれば、ゼロ災害」
- 講 師 落語家 三遊亭 歌扇 氏

ロ. 関西支部

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から研修会の開催を見合わせた。

②安全パトロール

イ. 関東支部 年間で2回実施しました。

ロ. 関西支部 年間で1回実施しました。

4) 技術委員会

①（一社）日本建築学会 JASS4 改定委員会の小委員会と JASS4 改定 WG に前年度に引き続き参加して、今年度の発刊を目指して改訂作業を行いましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、発刊は来年度に延期されました。

②都市再生機構の地業工事特記仕様書改定（拡底アースドリル工法）に反映させるため、安定液の深度方向の性状と杭頭部のコンクリートの圧縮強度に関して、当協会との共同調査を前年度に引き続き行いました。調査結果をまとめて2020年度日本建築学会学術講演会に2編投稿しました。

③会員各社の平成30年度の場所打ちコンクリート杭施工実績調査を行いました。

イ. 会員各社の施工実績を纏めました。（調査期間平成31年4月～令和2年3月まで）

ロ. 調査票を纏めて報告書を作成し、各会員に配布しました。

④2020年度より新たに土木研究所との共同研究について、①「オールケーシング管理装置(NBKS)の高度化に伴うデータ解析及び地盤の評価方法の確立」と②「既設杭と新設杭の近接施工の影響による解析のための振動実験」を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、延期されました。

- ⑤ 「場所打ちコンクリート杭 施工指針・同解説 オールケーシング工法（土木）」と「場所打ちコンクリート杭の鉄筋かご無溶接工法 設計・施工に関するガイドライン」を改訂し、発行しました。
- ⑥ （公社）地盤工学会主催の「新設杭に干渉する既存杭の撤去に関する研究委員会」に前年度に引き続き、参加しました。

7. 建設機械施工検定委員会等委員の委嘱について

当協会の河野理事が、建設業法に基づき国土交通省に設置されている「建設機械施工技術検定委員会」の委員の委嘱を受けて、同技術検定に協力しています。

令和2年度建設機械施工技術検定委員会は、令和3年11月24日（火）にリモート会議により開催され

- (1) 令和2年度建設機械施工技術検定試験の合格者の決定について
- (2) 令和3年度建設機械施工技術検定試験の実施について
- (3) その他

の議題により審議がなされました。

8. 国等からの各種通知の周知徹底について

建設業に関連した国等からの各種通知の周知徹底等に努めました。

9. 国土交通省幹部及び同省地方整備局長等幹部との意見交換会等について

(1) 令和2年度国土交通本省と（一社）建設産業専門団体関東地区連合会との意見交換会が令和3年3月18日開催され、次の議題について専門工事業業界から要望を行うとともに意見交換をしました。当協会からは専務理事が出席しました。

- 1) 建設業の担い手確保に向けた取組について
- 2) 建設キャリアアップシステムの諸課題について
- 3) 建設現場における「働き方改革」関連施設の浸透状況について

10. 会 議

(1) 総 会

第11回通常総会 令和2年 5月19日開催

(2) 理 事 会

令和2年度	第1回	令和2年	5月19日開催
令和2年度	第2回	令和2年	7月 8日開催
令和2年度	第3回	令和2年	9月 9日開催
令和2年度	第4回	令和2年	11月18日開催
令和2年度	第5回	令和3年	3月10日開催
令和2年度	第6回	令和3年	4月20日開催

(特別委員会)

(3) 試験委員会

令和2年度 第1回 令和2年 6月16日開催

令和2年度 第2回	令和2年 9月23日開催
令和2年度 第3回	令和2年12月 2日開催

(常設委員会)

(4) 経営・企画委員会

令和2年度 第1回	令和3年 2月25日開催
-----------	--------------

(5) 登録基礎工基幹技能者講習委員会 (日基協)

令和2年度 第1回	令和2年 8月31日開催
令和2年度 第2回	令和3年 2月12日開催

(6) 技術委員会

令和2年度 第1回	令和2年10月 6日開催
令和2年度 第2回	令和2年10月15日開催

(7) 広報委員会

令和2年度 第1回	令和2年 6月19日開催
令和2年度 第2回	令和2年 8月 5日開催
令和2年度 第3回	令和2年10月28日開催
令和2年度 第4回	令和2年12月15日開催
令和2年度 第5回	令和3年 1月18日開催

(8) 安全委員会

令和2年度 第1回	令和2年 7月 6日開催
令和2年度 第2回	令和2年10月 5日開催

(注) 総会、理事会、各委員会の会議内容等詳細については事務局にお問い合わせ下さい。